

1 会合概要

(1) 日時・形式：

令和5年11月15日（水）（現地時間）

於：米国サンフランシスコ（議長：ニュージーランド）

(2) 出席者：

新藤経済再生担当大臣をはじめ12か国の閣僚等



2 結果概要

(1) 今回のCPTPP閣僚会合では、ア) 協定に基づく一般的な見直しの作業を進めるため、その作業方針である付託事項（TOR）が承認され、イ) 英国に続く6つの加入要請エコノミーへの対応に係る議論がなされるなど、出席した閣僚間で活発な議論が行われた。

(2) 12か国閣僚共同声明を採択。主な概要以下のとおり。

- ・ 英国加入手続を成功裡に完了したことを改めて歓迎。現在の焦点が、英国のCPTPPへの加入議定書の適時の発効に向けた、各国の国内手続の完了に向けられていると表明。
- ・ CPTPPを最大限活用し、協定の理解を改善し、同時に、女性や先住民族の経済的エンパワーメント、持続可能な環境の慣行を支える貿易の成果をもたらすことを検討する、CPTPPの一般的な見直しの付託事項を承認。
- ・ CPTPP参加国の利益が加入手続を通じて拡大し続けることができるよう、CPTPPが、協定のハイスタンダードを満たす用意があり、貿易に関するコミットメントを遵守する行動を示してきたエコノミーによる加入要請に対して開かれていること、そして、意思決定は参加国のコンセンサスによることを再確認。
- ・ 加入要請エコノミーがCPTPPのハイスタンダードを満たし、貿易に関するコミットメントを遵守する行動を示してきたかどうかについての情報収集プロセスを実施していることに留意。英国加入から得られた教訓をもとに、この作業を継続し、効率的で、公正で、質が高く、加入要請エコノミーにとって魅力的な将来の加入に向けたプロセスを策定すると表明。

(3) 二国間会談等の実施

- ・ 本会合の機会を活用し、新藤大臣は、ペルー、豪州、シンガポール、ベトナム、そして英国の各担当閣僚と二国間会談を実施。世界経済が不透明さを増す中で、先進的でハイスタンダードなCPTPPの果たす役割の重要性や英国の加入の意義等について意見交換を行った。
- ・ また、新藤大臣は、CPTPP担当閣僚とビジネス界との対話にも出席し、日本のCPTPPや経済再生への取り組みを説明し、意見交換を行った。